

作成日 2021/10/29  
改訂日 2022/4/19

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ろうワックストラック荷台用 粉末タイプ  
会社名 株式会社MonotaRO  
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階  
担当者名 商品お問合せ窓口  
電話番号 0120-443-509  
FAX番号 0120-289-888  
緊急連絡先 所在地と同じ  
整理番号 M220426

### 2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2B  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器)  
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

#### GHSラベル要素

#### 絵表示



注意喚起語 危険  
危険有害性情報 H320 眼刺激  
H370 呼吸器の障害  
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

注意書き  
安全対策 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
(P305+P351+P338)  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)  
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

保管  
廃棄 施錠して保管すること。(P405)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

#### 混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 |     | CAS番号 |
|----------|----------|-----|----------|-----|-------|
|          |          |     | 化審法      | 安衛法 |       |

|           |       |    |    |    |            |
|-----------|-------|----|----|----|------------|
| カルナウバ蠟    | 45.0% | 不明 | 不明 | 不明 | 8015-86-9  |
| タルク       | 45.0% | 不明 | 不明 | 不明 | 14807-96-6 |
| パラフィンワックス | 10.0% | 不明 | 不明 | 不明 | 8002-74-2  |

#### 4. 応急措置

##### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

##### 皮膚に付着した場合

多量の水と石けんで洗うこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

##### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

##### 飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

無理に吐かせないこと。

#### 5. 火災時の措置

##### 適切な消火剤

消火剤の限定はない。周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。

##### 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性

特になし。

特になし。

##### 特有の消火方法

消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は、安全な場所に退去させる。

##### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

##### 環境に対する注意事項

関係者以外の立入りを禁止する。

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

##### 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 二次災害の防止策

漏出したものを拭い取り、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

##### 技術的対策

火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。

##### 局所排気・全体換気

取り扱いには換気のよい場所で行う。

##### 安全取扱注意事項

取り扱い後はよく手を洗うこと。吸入は避けること。

##### 保管

##### 技術的対策

消防法の規定に従うこと。

##### 安全な保管条件

直射日光を避け、暗所にて保管する。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

|           | 管理濃度 | 許容濃度(産衛学会)  | 許容濃度(ACGIH)  |
|-----------|------|---|--|
| パラフィンワックス | 未設定  | 未設定   | TWA 2 mg/m <sup>3</sup> , STEL -   |
| タルク       | 未設定  | 【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵<br>0.5mg/m <sup>3</sup> 総粉塵<br>2mg/m <sup>3</sup> | TWA 2 mg/m <sup>3</sup> (E, R), STEL -<br>(Containing no asbestos fibers);TWA Use Asbestos TLV(R)(K), STEL -<br>(Containing asbestos fibers) |
| カルナウバ蠟    | 未設定  | 未設定   | 未設定  |

設備対策

取り扱いの際は全体換気を行う。

保護具

呼吸用保護具

防塵マスクを着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡(普通眼鏡型、ゴーグル等)を着用すること。

皮膚及び身体の保護

保護服(長袖作業衣等)を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体

形状

粉末

色

淡黄色～淡褐色

臭い

わずかに特異なにおい

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸点

データなし

範囲

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限 下限

データなし

界／可燃限界

上限

データなし

引火点

260°C

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

水に不溶(ほとんど溶けない)

n-オクタノール／水分配

データなし

係数

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.8～1.9

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常取り扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性

特記すべき反応性なし。

避けるべき条件

高熱、火炎・火花等の着火源を避ける。

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

自己分解により有毒ガスを発生することはない。

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。

|                      |                            |  |
|----------------------|----------------------------|--|
|                      | 経皮                         | 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。<br>急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。  |
|                      | 吸入                         | 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。<br>(気体)<br>GHS定義による気体ではない。<br>(蒸気)<br>データ不足のため分類できない。<br>(粉じん・ミスト)<br>データ不足のため分類できない。 |
| 皮膚腐食性／皮膚刺激性          |                            | 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。<br>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  |
| 眼に対する重篤な損傷性<br>／眼刺激性 |                            | 眼区分2Bの成分合計が10%のため、区分2Bとした。   |
| 呼吸器感受性               |                            | データ不足のため分類できない。  |
| 皮膚感受性                |                            | データ不足のため分類できない。  |
| 生殖細胞変異原性             |                            | データ不足のため分類できない。  |
| 発がん性                 |                            | データ不足のため分類できない。  |
| 生殖毒性                 |                            | (生殖毒性)<br>データ不足のため分類できない。<br>(生殖毒性・授乳影響)<br>データ不足のため分類できない。  |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)      |                            | 区分1(呼吸器)の成分が45%のため、区分1(呼吸器)とした。  |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)      |                            | 区分1(呼吸器)の成分が45%のため、区分1(呼吸器)とした。  |
| 誤えん有害性               |                            | 動粘性率が不明のため、分類できないとした。  |
| 12. 環境影響情報           |                            |  |
| 水生環境有害性 短期(急性)       |                            | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。<br>毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  |
| 水生環境有害性 長期(慢性)       |                            | (毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。<br>毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  |
| 生態毒性                 |                            | データなし  |
| 残留性・分解性              |                            | データなし  |
| 生体蓄積性                |                            | データなし  |
| 土壤中の移動性              |                            | データなし  |
| オゾン層への有害性            |                            | データ不足のため分類できない。  |
| 13. 廃棄上の注意           |                            |  |
| 残余廃棄物                |                            | 残余廃棄物は、関連法規および地方自治体の基準に従って廃棄すること。  |
| 汚染容器及び包装             |                            | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規および地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。  |
| 14. 輸送上の注意           |                            |  |
| 国際規制                 | 海上規制情報<br>Marine Pollutant | 非該当<br>Not applicable  |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code       | Not applicable   |
| 国内規制   | 航空規制情報<br>陸上規制<br>海上規制情報<br>海洋汚染物質<br>MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質<br>航空規制情報 | 非該当<br>非該当<br>非該当<br>非該当<br>非該当<br>非該当   |
| 緊急時応急措置指針番号                                  |  | なし   |
| 15. 適用法令<br>労働安全衛生法                          |  | 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)<br>名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)  |
| 毒物及び劇物取締法<br>化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)<br>海洋汚染防止法 |  | 固形パラフィン(政令番号:170)(1%-10%)<br>非該当<br>非該当<br>有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)<br>有害液体物質(X類同等の物質)(環境省告示第148号第1号)   |
| 外国為替及び外国貿易法<br>労働基準法                         |  | 輸出貿易管理令別表第1の16の項<br>がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)   |
| 16. その他の情報<br>参考文献                           |  | 製造元メーカー提供資料<br>NITE GHS分類結果一覧<br>JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法<br>JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)<br>経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス<br>日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。 |
| その他  |  | 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。   |